

ニューノーマル時代をICT×人で支える

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、NTT東日本グループでは情報通信事業者として課された「つなぐ」という使命を全うすべく、ニューノーマル時代の到来によって変容を迫られつつある世の中のお困りごとに対し、ICTの活用を進めています。新たな日常においても必要とされる企業であり続けるために、お客さまや社会のニーズを的確にとらえ、迅速に対応していきます。

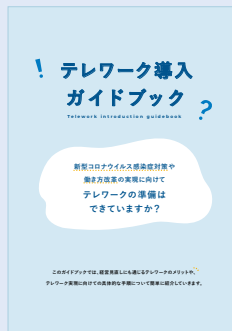
お客さまへの取り組み

ニューノーマル・アフターコロナ時代にあわせた働き方を早急に検討し、対応しなければならないお客さまの不安や要望に寄り添い、迅速かつ利用しやすいサービスの提供に努めています。

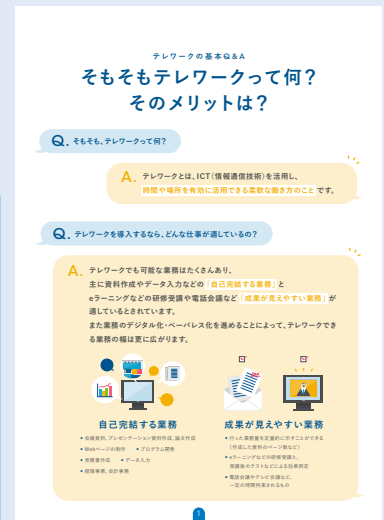
テレワーク相談窓口の開設

新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインを積極的に取り入れた新しい働き方へのシフトチェンジが加速しています。とはいえ、テレワーク・在宅勤務の導入や移行に際しては課題が少なくありません。事実、社員の自宅での通信環境やセキュリティ対策、勤怠・労務管理をはじめ不安の声が数多くあがっています。

そうした現状を鑑み、NTT東日本グループはテレワーク導入を検討しているお客さまの環境構築を積極的にサポートしています。2020年3月に開設した専任コンサルタントによるテレワーク相談窓口、ウェブサイトにおける「テレワーク導入ガイドブック」の提供、定期的に行っている各種オンラインセミナーがその代表例です。他にもオンライン診療の導入支援や学習支援クラウドサービスの無償提供等、ICTを活用したサービスを積極的に展開しています。



「テレワーク導入ガイドブック」



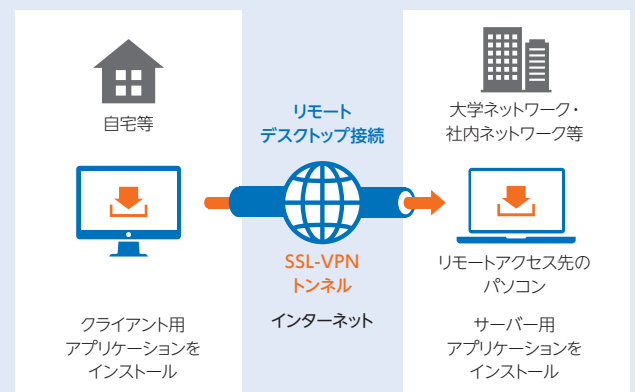


シン・テレワークシステムの実証実験

リモートワークの全国的な広がりを受け、企業の感染拡大防止と事業継続の両立を支援すべく、当社は筑波大学OPENプロジェクト等の複数組織の連携協力により、独立行政法人情報処理推進機構と共同開発した簡単で安全なリモートアクセスシステム「シン・テレワークシステム」を2020年4月から、実証実験として無償で提供を開始しました。

シンクライアント*1型VPN*2を活用してテレワークを支援する同システムは、自宅端末からオフィスで使用しているパソコンやファイルサーバー等へのアクセスやリモート作業を可能にするのはもちろん、強固なセキュリティを敷いているため安心・安全に利用でき、契約やユーザー登録も不要です。利用者様からは「継続して利用したい」という多くのご要望をいただき、2021年10月31日まで1年間、実証実験を延長することとしました。

▶「シン・テレワークシステム」による安全なリモートアクセス



*1 シンクライアント：ユーザーが使う端末での処理を必要最小限にし、ほとんどの処理をサーバー側で実行するシステム。

*2 VPN (Virtual Private Network)：パブリックネットワーク上に仮想の専用線を設定し、特定の人のみが利用できる専用ネットワーク。のぞき見や改ざん等の不正アクセスを防ぎ、安全な通信を可能にする。

感染抑止対策

通信インフラを維持していくうえで、大前提はお客さまの安全と社員の健康です。NTT東日本グループでは2020年2月に設置した対策本部を中心に、社内外で対策を徹底し、全社をあげて感染抑止に努めています。

具体的な取り組み

- ① テレワークの積極的活用
- ② 手洗い・うがい・消毒・マスクの着用の励行
- ③ 検温による体調管理
- ④ 社屋通用口でのサーモカメラによる検温

⑤ お客さま訪問時の対策例

作業前に感染予防・拡大防止に向けた作業員の対応・お客さまへのご協力依頼について説明しています。作業場所の換気のお願ひ、会話時の2メートル程度のソーシャルディスタンスはその一例です。

